



平成 30 年度岩手県臨床衛生検査技師会 定時総会が開催されました

平成 30 年度一般社団法人臨床衛生検査技師会定時総会が、5 月 26 日リリオにて開催されました。総会議長には地ノ森クリニックの岡本恵智子さんが選出され、資格審査委員より会員数 564 名出席者 39 名委任状 416 名と過半数に達した事により総会成立が宣言されました。平成 29 年度事業・決算報告、平成 30 年度事業計画案・予算案はすべて承認されました。

総会終了後の特別講演では、土井尻病院の鎌田恭子先生を迎え、「心臓超音波の基礎」と題して講演していただきました。日頃超音波検査を行っていない方にも分かり易い内容で、もともと為になる講演をしていただけました。

今年度の総会も無事終了し、岩臨技もまた新たな気持ちで一年が始まりました。今年も、会員の皆さんの力で岩臨技を盛り上げていきましょう。



平成 30 年度定時総会議事録

日時 平成 30 年 5 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分～

場所 リリオ 3 階 イベントホール (盛岡市大通一丁目 11 番 8 号)

平成 30 年度定時総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 総会役員選出

資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人

5. 総会成立の確認

6. 議 事

承認第 1 号 平成 29 年度事業について

承認第 2 号 平成 29 年度決算について

承認第 3 号 平成 29 年度監査報告について

第 1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) について

第 2 号議案 平成 30 年度予算 (案) について

7. 総会役員解任
8. 議長退任
9. その他
10. 閉会の辞

【議事録】

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出

議長 岡本 恵智子 氏 (地ノ森クリニック)

事務局より提案され、全会一致で承認。

4. 総会役員選出

資格審査・議事運営委員

委員長：細川裕史理事(県立千厩病院)

委員：館野幸枝氏(県立遠野病院) 八重樫恵理氏(北上済生会病院)、

書記：小野寺絵美理事(西城病院)

議事録署名人：下川波歩氏(岩手医大付属病院)、安保淳一氏(岩手医大付属病院)

5. 総会成立の確認

資格審査委員長より報告。

会 員 564 名 出席者 39 名 委任状 416 名

以上、出席者と委任状合わせ 455 名で過半数を満たしており、定款 第 4 章 第 20 条 2 項の規定により総会は成立し、議長より通常総会の成立が宣言された。

6. 議事

承認第 1 号 平成 29 年度事業について

(い わ て)

- | | |
|--------------------|---------------|
| ○一般経過報告 | 行森 良一 会長 |
| ○事務局行動日誌 | 畠山 裕司 事務局長 |
| ○事業報告 | |
| 1) 総務部 | 菊池 英岳 副会長 |
| 2) 学術部 | 畠山 秀樹 副会長 |
| 3) 公益事業部 | 川村 将史 理事 |
| 4) 生涯教育研修部 | 宮本 祥一 理事 |
| 5) 精度管理・書記会報・地区理事会 | 行森 会長 畠山 事務局長 |
- 承認第2号 平成29年度決算について 高橋 一博 理事

- ・収支計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
- ・収支計算書に対する注記
- ・財産目録 (平成30年3月31日現在)
- ・貸借対照表 (平成30年3月31日現在)
- ・正味財産増減計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

承認第3号 平成29年度監査報告について 井上 幸男 監事

○平成29年度監査報告書

*以上承認第1号、2号、3号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

第1号議案 平成30年度事業計画(案)について 行森 良一 会長

- ・第23回岩手県医学検査学会が11月18日(日)に南部地区担当で奥州市前沢ふれあいセンターで行われる。会員皆様のご協力とご支援の程よろしくお願ひしたい。
- ・各部門研修会では日臨技生涯教育補助事業による研修会を中心に行う。認定技師との連携や協力を頂き企画・運営を行っていく。新人・若手技師を対象とした研修会や精度管理調査事業、学術誌の発行も継続していきたい。会員の皆様の論文投稿お願ひしたい。
- ・公益事業では『がん予防啓発キャンペーン』が9月9日(日)に安比高原スキー場、『検査と健康展 in 二戸』が11月25日(日)に二戸ショッピングセンターニコアでそれぞれ行われる予定である。
- ・総務部では会員名簿を早い時期に作成したい。また連絡網の整備、電子配信の事業にも引き続き取り組んでいく。
- ・事務局では多くの業務を抱えている。事務局員や岩手医大の皆様のご協力を得ながら円滑に進めていきたい。
- ・今年度も継続して未入会の方や新人・若手技師の勧誘を行い組織率の向上に努めたい。それと合わせて技師会の会費についても見直しをしなければならない時期が来ていると思われる。
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会が4年目を迎え、臨床検査技師ライセンスの一部業務追加の指定講習会であることから可能な限り、既卒者全員の受講を目指す。

○事業計画(案)

- | | |
|----------|-----------|
| 1) 総務部 | 菊池 英岳 副会長 |
| 2) 学術部 | 畠山 秀樹 副会長 |
| 3) 公益事業部 | 川村 将史 理事 |
| 4) 生涯教育部 | 宮本 祥一 理事 |

(い わ て)

5) 精度管理・書記会報・地区理事会

行森 会長 畠山 事務局長

質疑 安保 淳一氏 (岩手医大付属病院)

学術誌について提案

私が始めた経緯もあって気になっていたが、実際なかなか論文が集まらない現状があるようだが、全国医学検査学会や岩手県医学検査学会、北日本医学検査学会で岩手県の発表した方々の中から学術部で検討し論文投稿を働きかけてみてはどうか。一つの冊子として残るのは投稿者にとっても励みになっている。学会誌が継続できるよう検討してほしい。

第2号議案 平成30年度収支予算(案)について 高橋 一博 理事

平成30年4月1日～平成31年3月31日 収支予算書

*以上第1号、第2号議案、それぞれ賛成多数で議決された。

7. 総会役員解任

議長がすべての議事が終了したことを告げ、総会役員を解任した。

8. 議長解任

9. その他

10. 閉会の辞

平成30年5月26日 総会議長 岡本 恵智子

議事録署名人

下川 波歩

安保 淳一

平成29年度第6回理事会議事録

日時：平成30年5月26日(土曜日)

場所：リリオ 5階会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、畠山秀樹、高橋一博、川村将史、宮本祥一、畠山裕司、
細川裕史、井上幸男、岡田進、阿部久子、石川学、佐藤了一、千田文枝、
小野寺絵美、相原淳路

I 報告事項

- ・2020年(第69回)日本医学検査学会について(行森)
今回は福島県技師会担当(山寺会長) 仙台国際会議場で開催予定
開催日時は未確定ではあるが例年5月中に行われている。
- ・第7回北日本支部医学検査学会について
テーマ：『挑戦と飛躍』
会期：平成30年11月10日(土)～11日(日)
場所：リンクステーションホール青森

(い わ て)

現在、一般演題及び抄録原稿の募集が行われている。(4月16日～6月29日)

日臨技会員専用サイト【日臨技会員メニュー】から学会演題発表・査読より学会名を選択後、登録してほしい。

- ・2020年の第9回北日本支部医学検査学会は同年に第69回日本医学検査学会が福島県技師会担当で会場が宮城県で行われるため、繰り上げされ岩手県で行われると思われる。(ほぼ決定)。今後、開催日時を決定し会場(アイーナ)を確保することとなった。

II 各事業について

1、総務部(菊池)

- ・会員名簿の作成だが現在、地区会長に確認作業を行っている。各地区会長には再度最終的な確認を行ってもらうことになる。
- ・平成30年度も親睦を深める活動を行いたい。

2、学術部(畠山)

- ・平成29年度の総括

三陸地区技師会担当で平成29年11月19日(日)に第22回岩手県医学検査学会(宮古市)を行い、参加者は94名であった。成功裏に終了した。

精度管理調査及び報告会は例年通り今年度も行い、滞りなく実施できた。

新人、若手技師対象の研修会については立案できなく実施できなかった。

学術誌についてはまだ発刊できない状況である。

3、公益部(川村)

- ・平成29年度の総括

今年度もがん啓発活動と検査と健康展を開催した。

*子宮頸がん予防啓発キャンペーンあっぴりレーマラソン2017

平成29年9月9日に安比高原スキー場周辺で行った。会員参加者は26名であった。

*検査と健康展 in 奥州

平成29年11月12日にコープアテルイで行った。一般参加者は160名であった。

- ・平成30年度について

『がん予防啓発キャンペーン』が9月9日(日)に安比高原スキー場、『検査と健康展 in 二戸』が11月25日(日)に二戸ショッピングセンターニコアでそれぞれ行われる予定である。

『がん予防啓発キャンペーン』の周知については昨年同様、各施設にメール及び文書で知らせる。参加チーム数が年々多くなっている状況なので早めに申し込みを行う。申し込み期限は7月6日(金)となっている。

『検査と健康展 in 二戸』については5月中旬に日臨技に企画書を申請する。衆議院の解散があった場合、会場が期日前投票の投票所となっていて、会場のスペースが半分となり事業内容の再検討が必要となってくる。二戸周辺にニコア以外に会場がないので会場はニコアの方向で進める。会計については今後、岩臨技の会計を通して行う。医師については地元の医師会等を通して派遣してもらう。

4、生涯教育(宮本)

- ・平成29年度の生涯教育活動等について

(い わ て)

開催された行事は46回で例年並みであった。平成30年度についてだが、始まり3か月としては例年並みの開催数である。

・研修会の申請期限について

申請から開催日まで一か月を割る研修会が数回あり、日臨技の助成対象からは外さざるを得なかったことは残念である。年度の変わり目で色々な事情があると思われるが、開催の一か月前までに、行事登録と予算書の入力を終えなければならないので出来るだけ早めの申請をお願いしたい。

・日臨技の生涯教育の助成金について

以前は専門教科でなければいけなかったが、基礎教科でも助成金を通るようになった。各種資料を確認したが、専門教科の記述がなくなっていた。今後申請していくこととなった。

5、平成29年度収支決算について（高橋、行森）

・事業活動収支計で予算額5,360,500円、決算額5,191,384円で169,116円の黒字であった。

ここ数年黒字がなかったが、毎年黒字になるとは限らないので会計の方は厳しい状況が続くと思われる。繰越残高が約370万円程度あるが、今後、北日本学会があり一時金として200万円程度必要となる。

6、事務局報告事項（畠山裕司）

・平成30年3月2日から平成30年5月25日までの事務局活動報告

・日臨技の総会が6月23日（土）に行われる。議決権行使の案内が各個人に郵送されているが電磁的方法での締め切りは6月22日（金）正午まで。郵送（書面）の場合は6月22日（金）必着である。回収手数料が日臨技から岩臨技に入る。県の回収率が半分以下の時は0円、1/2～2/3だと一人当たり50円、2/3以上集めると70円、岩臨技に入る。忘れずに議決権行使書を提出してほしい。

・次回の理事会は諸事情により7月14日（土）、アイーナで行う予定。

・平成30年度都道府県技師会リーダー育成研修会及び初級・職能開発講習会について

初級・職能開発講習会は岩手県で開催する方向で進めていくこととなった。

都道府県技師会リーダー育成研修会については研修会の詳細が分からず、参加者は少ないと思われるので、平成30年度は実施しないということで日臨技に報告することとなった。

III 協議事項

・ホームページの管理等について

現在、畠山副会長が個人のPCを使って管理しているが、個人負担の増加、セキュリティー等を考えると業者をお願いしてもいい部分があると思われる。近隣技師会の状況は青森県、秋田県、山形県は基本的には技師個人が管理していて、宮城県、福島県は業者に依頼している。盛岡にある複数の業者に相談・見積もり依頼をした。初期費用についてはページ数や内容により変わるが360000～1000000円程度。月額料金は6000円程度であるが更新回数により変動する。年額料金は5000円。又、現在のホームページをリニューアルしない場合（現行のサイトを業者でサーバー管理、ページの更新行う場合）初期費用は80000円で月額20000円～（更新回数より変動）になる。サイボウズに替わる無料のグループウェアについても面接した業者に聞いたが、セキュリティー等の保障はできないがサークルスクエアやRグループがある。企業での導入実績がある。サイボウズについては来年度の話であ

り、それぞれ予算が関わってくるので早急に検討していくこととなった。

IVその他

- ・第23回岩手県医学検査学会について

平成30年11月18日(日)『前沢ふれあいセンター』(奥州市前沢)で行われる。

先週、第一回の実行委員会を行った。大会テーマは『臨床検査技師の可能性と多様性、診療に繋げるために』になっている。演題締め切りは6月29日までとなっているが今のところ演題登録はない。今後、演題募集の周知を会報等で行う。最優秀演題賞を設ける予定であり何らかの賞品を考えている。教育講演は認知領域の検査技師、日臨技の執行理事である深澤さんをお願いした。公開講演は気仙ぼけ一座さんに寸劇形式の演劇を予定している。周辺の学校、役場等に広報活動を行っていききたい。今回も最後に抽選会を企画したい。開催時間は9時頃～16時30分頃になる予定。詳細については今後の実行委員会で決定していくこととなった。

- ・各地区活動報告

〈北部地区：岡田〉29年度は3回研修会を行った。30年度は3回以上の研修会と検査と健康展の開催が控えているので準備を進めていきたい。

〈盛岡地区：川村〉29年度は3回研修会を行った。画像関係に力を入れた。盛岡地区としてあっぷりレーマラソンと検査と健康展に参加協力できた。30年度も3回の研修会と健康展、あっぷりレーに協力したい。

〈中部地区：千田〉29年度は2回研修会と検査と健康展を開催した。30年度は3回程度の研修会を行う予定である。

〈南部地区：細川〉29年度は例年通り4回の研修会を行った。できるだけ会員の要望を取り入れる形で行った。第23回岩手県医学検査学会開催についての取り組みを開始した。

〈三陸地区：石川〉29年度は第22回岩手県医学検査学会を開催した。皆様のご協力に感謝します。30年度は例年通り研修会を企画していく。

- ・日臨技精度管理結果サポート事業について

毎年3月に行っている精度管理報告会が日臨技の補助金の対象となる可能性がある。3月は決算時期になり、補助事業である場合は2月までの申請なので精度管理報告会を早める必要があるが、今後の情報を確認していくこととなった。

- ・学術誌について

投稿者が見つからず、発刊できない状況である。他県の学術誌は技師会で行ったイベントの掲載や学会の抄録等の内容となっている。岩手県は今まで投稿のみである。会員名簿と学術誌を載せている県もあるが、今の時代、会員名簿を掲載するのは良くないと思われる。会員名簿は岩臨技の事務所には必要であるが、日臨技の情報を利用すればいいと思われる。認定資格を取るのに学術誌が出来た経緯がある。県学会の抄録の掲載でもいいと思われるが、査読がないものを論文として掲載できないので、抄録は抄録として掲載し、論文は論文として査読を受けてから掲載する。精度管理を載せるには紙面を小さくする必要がある。山口県では学会誌の裏に精度管理関連のCDを張り付けていた。次回の学会誌は第22回岩手県医学検査学会の抄録を掲載していく方向で検討していくこととなった。

(い わ て)



今回の『つなぐ』は県立磐井病院 菊池可奈子さんです
“つなぐ”

今回、県立久慈病院の高橋沙綾さんから引き継ぎました、県立磐井病院の菊池可奈子です。前回の“つなぐ”では、沙綾さんが競技ダンスの魅力や苦労について書いていましたが(大学卒業後も続けていたなんてすごいですね！)、趣味・引きこもり、特技・早寝な私は、残念ながら特にこれといって書けるようなことも思いつきませんでしたので、最近の出来事について書きたいと思います。

この春の人事異動で県立二戸病院(軽米病院本務)から県立磐井病院へ異動となりました。二戸病院・軽米病院の皆様には大変お世話になりました。バタバタと引っ越し作業も終わらせ、現在は、実家のある北上市から東北本線で通勤しています。人生初の電車通勤で、あれ？定期券って自動改札通れるんだっけ・・・？というところからだったのですが、無事定期も使うことができ、電車通勤にもだんだん慣れてきたように思います。私的には結構早起きをしているつもりだったのですが、早朝の電車でも学生さん達がたくさん乗っていて、一ノ関駅に着くころには結構な満員になっています。世の中早起きの人が多いのだなーと感じている今日この頃です。

北上の展勝地の桜もちょうど満開を見ることができました。今年は、駐車料金の変更や橋の通行止めなどがあり、混乱もあったようですが、早朝に行くと花見客も少なめで、犬の散歩をしつつ、ゆっくり眺めることができました。他にも犬を散歩させている人が多かったので、犬嫌いの愛犬に若干妨害もされましたが・・・。来年も早朝をねらって見に行ければと思います。

次回は県立宮古病院の畠山尚子さんにつなぎたいと思います。尚子さんとは、二戸病院で一緒に働きまして、この春一緒に二戸から旅立ちました。二戸病院ではたくさんお世話していただきました。元気になっていますでしょうか。次回、よろしくお願いします！



(い わ て)

研修会のご案内

【第16回みちのく超音波研究会】

日時：平成30年7月21日（土）

13:30～16:50（13:00～受付開始）

会場：岩手県医師会館 4階 ホール

研究会参加費：3,000円（年会費1,000円を含む）

日本超音波医学会認定超音波検査士資格更新実施内規による研修・業績単位

研究会参加：5単位 発表、講演：5単位

生涯教育点数：専門20点

【日臨技北日本支部臨床検査総合部門研修会】

日時：平成30年8月25日（土）

11:00～18:00（10:30～受付開始）

会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室

研修内容：『人「財」育成を考える』

定員：60名

受講料：会員1,500円 非会員4,500円

生涯教育点数：基礎20点

申し込み期限：平成30年8月10日

***詳細はHP等でご確認ください**

第23回岩手県医学検査学会からのお知らせ

一般演題募集中！！

平成30年11月18日（日）

テーマ「臨床検査技師の可能性と多様性～診療に繋げるために～」

会場：奥州市 前沢ふれあいセンター

「一般演題及び抄録原稿登録」

平成30年5月1日（火）～平成30年6月29日（金）

[日本臨床衛生検査技師会ホームページ](#)の「会員専用ページ」にログインし「学会演題発表・査読」の「演題・抄録登録」から「第23回岩手県医学検査学会」を選択し、手順に従って登録してください。

※本学会において最も優れた演題には、「最優秀演題賞」（実行委員会で投票）として表彰するとともに、記念品を贈呈します。

スポーツシーズン到来

5月20日、奥州市できらめきマラソンが開催され、検査技師をはじめ多くの医療従事者が参加されていました。当日は快晴で湿度も温度も適度に低くマラソン日和でした。途中バナナやリンゴ、羊羹などを間食しながら無事完走（途中歩きましたが）できました。田植えシーズン真最中作業の手を休めながらの献身的な声援を受け、心地よい筋肉痛を1週間堪能することができました。検査関係では、県立胆沢病院、血液センター、岩手医大病院から出てました。秋には公益事業であっぴりレーマラソンがあります。多くの参加で健康を語る前に自ら健康になりましょう。そして、暑い夏を乗り切るためにも体を鍛え、なおかつ学術以外の技師会活動にも旺盛に参加し親睦を深めましょう。参加申し込みなどの詳細は技師会HPをご覧ください



P.S 健康企画として、9月か10月に奥州市の種山高原のハイキングも企画します。宮沢賢治の風の又三郎の舞台にもなった種山を散策して、体と心をリフレッシュしましょう。親子参加もOKです。詳細は後日発表します。
(県立胆沢病院 菊池英岳)

☆参加者募集中☆



日時:平成30年9月9日(日)スタート 8:30頃
会場:安比高原スキー場周辺
参加費:走者 3,000円 走者以外 1,000円
申し込み期限:平成30年7月6日(金)

～編集後記～

新年度がスタートし、2か月が過ぎました。新しい職場に転勤された方、新採用の方、会員の皆様には忙しく勤務されていることと思います。さて、まだ6月ですが夏日になることも多く、また寒暖の差が大きくなっておりますので寒暖差疲労の蓄積には注意してください。先日行われた総会では出席者39名と昨年より多くの会員の方々に出席して頂き、ありがとうございました。総会後は心臓超音波の基礎というテーマで鎌田先生にご講演頂きました。今年度も様々な活動がありますので、会員の皆様の御協力をよろしくお願い致します。(相)

会報「いわて」第319号 2018. 06

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人:

会 長 : 行森 良一

事 務 局 : 畠山 裕司

編集責任者 : 相原 淳路

小野寺 絵美

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111 内線3746 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス:

kaiho@iwateamt.or.jp